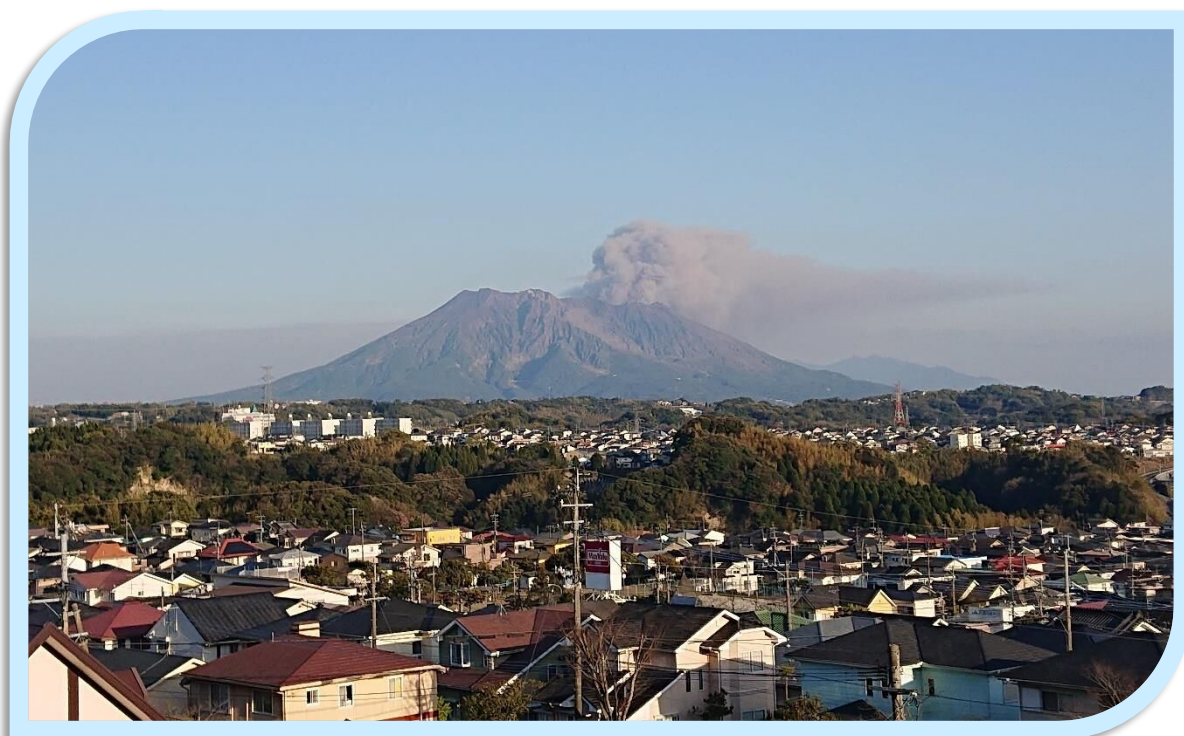


第2期（令和5年度～令和9年度）

地域コミュニティプラン 〔地域振興計画〕

みんなで育て躍動する

住みよいまち 花野校区



花野校区コミュニティ協議会

所在地 〒891-1204 鹿児島市花野光ヶ丘1-1-1
(花野校区公民館 1F)

電話・FAX 099-228-0077

E-mail keno_community@yahoo.co.jp

目 次

1	会長あいさつ	1
2	「コミュニティ協議会」とは	2
3	各部会 5年間のふりかえり	
	(1) まちづくり部会	3
	(2) 青少年育成部会	5
	(3) 福祉安全部会	7
	(4) 社会教育部会	9
	(5) 社会体育部会	11
4	第2期コミュニティプランと5つの柱	13
5	校区の概要	14
6	まちづくりの目標	16
7	推進組織と活動方針・主な活動	17
8	各部会 具体的な取組	18
	(1) まちづくり部会	
	(2) 青少年育成部会	
	(3) 福祉安全部会	
	(4) 社会教育部会	
	(5) 社会体育部会	

【 資 料 】

- コミュニティプラン策定委員会委員名簿
- 第2期コミュニティプラン策定経過
- 花野校区ウォーキングマップ
- 花野校区史跡マップ
- 花野小校区危険箇所及び通学路マップ

1 会長あいさつ

花野校区コミュニティ協議会は、2017年度（平成29年度）に発足し、2018年度～2022年度第1期「地域コミュニティプラン（地域振興計画）」を策定、計画に従い取組を実践してきました。

当初2ヶ年は概ね策定通りに実践され、スローガン達成に向けて『絆』は形成されました。特に、校区大運動会や校区文化祭は素晴らしい内容の取組となりました。

しかし、3年目（令和2年度）に新型コロナ感染症の流行という事態が生じ、取組の在り方に諸制限がなされ、中止か縮小をせざるを得ない事態となりました。反面、新アイデアによる取組もありました。

2022年4月から、コロナ終息を想定しての第2期2023年度～2027年度5ヶ年のプラン策定を行いました。これまでの取組を振り返り課題解決に向けた策定にと、関係者全員で知恵を絞って共有した内容が出来上がったと思います。プランの取組変更は生じることと予想されます。校区の皆さんのご理解・ご支援を賜り「みんなで育て躍動する住みよいまち花野校区」を創りましょう。

2022年度 花野校区コミュニティ協議会
会長 森尾 恭光

「コミュニティプラン」とは

花野校区は、30～40年以上居住している世帯が多いなか、少子高齢化が進み、空き家も増えてきています。その一方、若い世代の居住も少しずつ増加してきています。

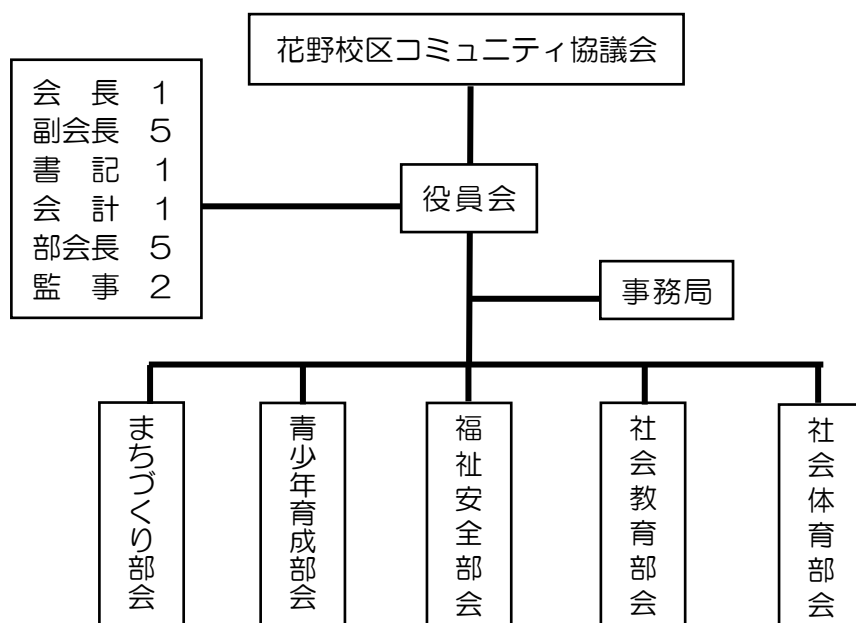
第1期コミュニティプランは令和4年度で終わり、第2期コミュニティプランは令和5年度からの5年間を見据えてこれまでの実践の効果や課題を振り返り、解決に向け花野校区を「よりよいまち」とするために分野ごとの個別計画に即して策定し、推進するねらいや事業内容を詳しく記した計画書です。

2 「コミュニティ協議会」とは

地域のことは地域で解決する自主的な考えに基づき、概ね小学校校区を単位として、地域の課題を解決するため自主的な取組のもと2017年に結成された任意の組織です。正式名称は「花野校区コミュニティ協議会」です。

花野校区住民や町内会を中心に様々な団体で構成され互いに協力して運営されています。情報を交換・共有し、話し合いを通して総合的な意思決定を行い地域活動に反映・実践しています。

事務局は、花野小学校内『花野校区公民館』の1階にあります。



3 各部会 5年間のふりかえり

(1) まちづくり部会

活動方針

住みやすい地域の環境づくりを基盤に、お互いの連帯意識に支えられた活力ある地域づくりのため、地域課題を的確に捉え、諸施策の積極的な企画や取組を進める。

ア 事業実施評価表

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	実施評価					継続改善検討
				H30	H31	R2	R3	R4	
1	校区内一斉清掃の日	「クリーンシティがごしまの日」(8月第一日曜日)に校区民総参加による一斉清掃を実施	環境美化活動の啓発	C	C	—	—	C	継続
2	コミュニティ協議会だより	広報紙を年2回発行	広報活動 活力ある地域づくり (活動への理解、事業への参加協力)	A	A	A	A	A	継続
3	まちあるき研修会	まちあるきにより地域資源(施設、史跡等)や危険箇所等について学習	地域の環境づくり 地域資源資料の整理	A	A	—	—	A	継続
4	花野フェスタ(仮称)	新たなイベントの開催	活力ある地域づくり	×	×	×	×	×	検討

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 ×：未実施

イ まちづくり部会で実施した事業



まちあるき研修会



校区一斉清掃



コミュニティ協議会だより

ウ 現状と課題

現 状 ・ 課 題

1 校区一斉清掃の日

- 鹿児島市の行事と連動した取組であり、多くの参加者が得られた。また地域の美化について考えるとともに、参加者相互の親交を深める機会にもなった。
- 高齢化が進む中であって、参加人数の減少はあったものの、所期の目的は達成できた。
- 第1期コミュニティプラン策定時の小学5年生、中学2年生のアンケート調査では、町内会清掃へ参加するとの回答が13.2%あったが、実際の参加者は少ないように思われる。改善するために、あいご会事業との連携も検討したい。
- 事業への啓発を進めるために、のぼり旗の作成・設置を検討したい。

2 コミュニティ協議会だより

- 年2回発行することとし、前期号には事業計画を掲載し、後期号には事業実績を掲載することで、活動への理解及び事業への参加協力を促すことに努めた。また、不定期ではあるが「ふるさとは歴史の宝庫」として歴史的遺産を紹介するコーナーを設けた。
- 校区の知的・物的環境や各種行事等を広報することができた。また、創刊号では花野校区まちづくりアンケート調査へのお礼と調査結果の一部を紹介した。
- コロナウイルスの感染拡大により、計画されていた事業が中止となり紙面構成に苦慮したが、第5号では「新型コロナウイルス感染症拡大防止」「災害に備えよう」を掲載した。また第6号では「ほら！校区にこの人あり！」「花野スポーツクラブ」を掲載した。
- 地域の方々や地域で活動している団体の紹介を掲載した。
- 今後も日常的な掲載記事の収集に努め、親しみのもてる内容と紙面構成に努めたい。

3 まちあるき研修会

- 皆房地域の歴史に造詣の深い幸福俊範氏を講師に迎え、皆房町内会と皆房防犯パトロール隊の協力を得て実施した。参加者にとっては、地域の史跡や文化に接する機会となるとともに、地域に対する愛を育む機会にもなったと思われる。また、参加者の中から、他の町内会の方々との交流ができたとの声も聞かれた。
- コロナ禍の影響を考慮し参加者の募集はせず、関係者のみで花野地域の史跡勉強会を実施した。校区内の歴史的財産を再認識する機会となり、次年度以降の研修箇所を選定する参考となった。

(2) 青少年育成部会

活動方針

次世代を担う青少年の「心と体」の健全育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開しながら、地域の教育力を高める。

ア 事業実施評価表

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	実施評価					継続改善検討
				H30	H31	R2	R3	R4	
1	青少年健全育成研修会	保護者を中心として開催 関係学校からの現状報告 講演会	青少年の現状理解とその解決策の研修	A	A	—	—	A	継続
2	青少年健全育成大会並びに立志の集い	中学2年生を対象に開催 若者の決意表明 若者へのメッセージ	15歳の節目に決意と目標設定 有意義な人生へのきっかけづくり	A	A	A	A	A	継続
3	見守り活動	街頭補導・あいさつ 関係団体との連携	子どもたちの実態把握 関係団体と子どもたちとの交流	B	B	B	B	B	検討
4	青少年交流会(仮称)	「青少年育成の日」に青少年が参加できる活動を企画・実施	青少年の健全育成 異年齢集団ふれあい活動	×	×	×	×	×	検討

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 ×：未実施

イ 青少年育成部会で実施した事業



青少年健全育成研修会



青少年健全育成大会並びに立志の集い



ウ 現状と課題

現 状 ・ 課 題

1 青少年健全育成研修会

- ・ 緑丘中・伊敷台中・花野小の児童生徒の実態報告により、各学校の実情が分かり、協力意識の向上を図ることができた。
- ・ 子どもの育て方の講演により、保護者・地域住民の教育力の向上に役立てることができた。
- ・ 校区あいご会と共催で開催できたことは良かった。
- ・ できたら体育館のような広い場所を活用し、若い保護者の参加を呼びかけたい。

2 青少年健全育成大会並びに立志の集い

- ・ 生徒が色紙に書いた将来の夢や目標を式典会場に展示し、有意義な人生へ向けての決意を高めることができた。
- ・ オープニングで、先輩の生徒たちに向けての花野小児童による合唱が素晴らしく、該当生徒や参加者の喜びも大きかった。
- ・ 6年時担任の祝いの言葉、先輩からのメッセージ、姿勢を正して聴き入る生徒の態度は素晴らしく、好感がもてた。
- ・ 令和2年度・令和3年度は、コロナ禍のため式典はできなかったが、代わりとして、将来の目標や夢を書いた色紙、現在の写真、小学校時代の思い出の写真等を取り入れたDVDを製作し、生徒はもちろん、保護者にも喜ばれ大好評であった。

3 見守り活動

- ・ あいご会・町内会・老人会・地域PTA等、関係団体の方々が、定期的に又は随時見守り活動を実施している。
- ・ 今後は関係団体と連携を深め、子どもたちが健やかに成長するよう見守っていききたい。

4 青少年交流活動

- ・ 子ども同士の異年齢交流活動は、伊敷地域ドッジボール大会・グラウンドゴルフ大会に向けて校区あいご会が実施していたが、令和2年度以降は中止の状態である。
- ・ 各町内会あいご会・町内会・老人会・校区社会福祉協議会などは、様々な形で交流活動を行っている。今後諸団体との活動連携、協力強化を更に図っていききたい。
- ・ 親子レクリエーション、スポーツ大会を計画・実施したい。

(3) 福祉安全部会

活動方針

地震や火事等に対する防災意識の普及に努め、犯罪等の未然防止のための活動や危険箇所の点検を実施する。

少子高齢化に伴う子育て支援や高齢者等の見守り活動を行うなど、すべての住民が安全で豊かな生活を営むことができるコミュニティ（地域社会）の実現を目指す。

ア 事業実施評価表

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	実施評価					継続 改善 検討
				H30	H31	R2	R3	R4	
1	防犯パトロール	校区内の防犯活動 花野光ヶ丘・花野・ 皆房防犯パトロー ル隊が定期的に巡 回	児童・生徒の事故防 止 登下校時間帯の安全 確保 安心安全な地域社会 づくり	C	C	C	C	B	継続
2	危険箇所の点検 及び危険箇所マ ップの作成	年1回危険箇所を 点検し、危険箇所 マップを更新	危険箇所の共有 安心安全な地域社会 づくり	C	C	C	C	C	改善
3	地域ふれあい活動	民生委員児童委 員が中心となり、 年数回実施	子どもの健全育成 児童・保護者・高齢 者のふれあい交流	×	×	×	×	×	検討
4	認知症・介護講習会	福祉施設等の協 力により実践的 な介護講習会を 開催	介護の基礎知識・技 能の習得 高齢者の生活支援 安心して生活でき る地域社会づくり	A	A	—	—	A	継続

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 X：未実施

イ 福祉安全部会で実施した事業



介護予防講習会



見守り支え合い活動研修会

ウ 現状と課題

現 状 ・ 課 題

1 防犯パトロール

- ・ 協議会としての青パト隊は編成していない。
- ・ 各町内会単位ではコロナ禍の中でも、毎月、曜日や班編成などを行い、子どもたちの下校時の安全・不審者対策など、十分な活動をしている。
- ・ スクールガードなど地域の高齢者が中心となり、子どもたちの下校時間の見守り活動を行っている。
- ・ 若い人が参加する機会が無い。
- ・ 青パト・見守り活動への参加ボランティアを募る必要がある。

2 危険箇所の点検及び危険箇所マップの作成

- ・ スクールゾーン委員会と安心安全ネットワーク会議が中心となり、毎年行っている。
- ・ 令和4年度は危険箇所点検に部会も参加した。
- ・ 危険箇所マップは、よいものが作成され、活用されている。
- ・ 事案（事故）に対して、検証、対策を構築するシステムが必要である。

3 地域ふれあい活動

- ・ 各町内会、社協、あいご会単位では、十五夜、敬老会などで、ふれあい活動がなされている。

4 認知症・介護講習会

- ・ 高齢化が進む中で、研修が必要である。
- ・ コロナ禍で実施が困難であるが、参加者が多い行事である。
- ・ 校区で幅広く開催するための工夫が必要である。
- ・ 緊急時の体制作りが必要である。
- ・ 見守り支え合い活動研修会が実施でき、必要性を学べた。

(4) 社会教育部会

活動方針

学ぶ喜びを実感する生涯学習の推進と伝統文化の輝くまちづくりに努める。

ア 事業実施評価表

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	実施評価					継続改善検討
				H30	H31	R2	R3	R4	
1	社会学級の開設	成人学級・女性学級を開設 社会生活上の様々な課題への取組と実践化	心豊かで生きがいのある人生づくり 学習成果をまちづくりに還元	A	A	D	D	C	継続
2	校区文化祭	日頃の学習成果の展示・舞台発表	校区民との交流促進 輝くまちづくりへの貢献	A	A	—	—	A	継続
3	伝統文化の継承	花野・皆房町内会の伝統文化「棒踊り」の継承支援	校区住民への伝統文化の周知 異年齢の交流により地域の絆の深化	B	B	C	C	B	継続
4	校区文化講演会	地域住民の要望を取り入れた、現代社会を生き抜く知恵の学習	地域住民の教養や文化意識の高揚	×	×	×	×	×	検討
5	ボランティア活動	授業支援 交流活動 防犯活動の支援活動	学校支援ボランティア 知識や技能、経験を活かしたボランティア活動の拡充	×	×	×	×	×	改善

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 ×：未実施

イ 社会教育部会で実施した事業



校区文化祭

ウ 現状と課題

現 状 ・ 課 題

- 1 社会学級の開設
 - 社会学級の開設にあたっては、学校や公民館と連携して講座を開設し、地域の人たちと一緒に学びの場や新たなふれあいや繋がりが出来るようにしている。
 - 学級生が固定して若くは若い世代の参加が少ない。
- 2 校区文化祭
 - 地域に住む子どもから高齢者に至る全ての人々が、広く文化（絵画・書・舞踊・ダンス等）の継承や自己の研鑽のために日々取り組んでいることの発表の場として、例年、校区文化祭を開催している。
 - 生涯学習の手助けになればとの思いもある。
 - 多くの校区民への周知と掘り起こしの策として、令和4年度はコロナ禍を見据えて「写真で綴る花野の文化」を発行した。
- 3 伝統文化の継承
 - 継承のために、一部の人たちが精力的に取り組んではいるが、後継者の掘り起こしや、育成が困難である。
 - 協議会からの支援としては、行事の日程を校区民へ広報し、その様子を何らかの方法で伝えることとする。
- 4 校区文化講演会
 - コロナ感染症のまん延により、実施できなかった。
 - 学校の長期休暇を利用して、児童を対象とした絵画教室、作文教室等を開催したい。
- 5 ボランティア活動
 - 学校支援ボランティアについては、学校支援コーディネーターに一元化することとする。
 - 協議会として、家庭教育支援活動を行いたい。

(5) 社会体育部会

活動方針

住民がだれでも、いつでも楽しんで参加できる運動・スポーツ、レクリエーション活動の推進を図り、健康で活力のあるまちづくりを進める。

ア 事業実施評価表

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	実施評価					継続改善検討
				H30	H31	R2	R3	R4	
1	ホテルウォーキング	校区民が花野川沿いをウォーキングしながらホテルを觀賞	コミュニティスポーツとしての位置づけと「ホテルの舞うまち花野校区」の自然の素晴らしさを認識	A	A	×	×	×	継続
		ホテルの増殖のための環境整備	継続実施に向けた具体的・計画的取組拡充	A	A	A	A	A	
2	校区成人球技大会	3パートによる町内会对抗のソフトバレーボール大会	青壮年と高齢者との世代間の交流 地域の活性化	A	A	—	—	A	継続
3	校区大運動会	幼児から高齢者まで校区民の多数が楽しく参加できる活動	連帯感の醸成 校区民の交流	A	A	—	—	—	継続
4	グラウンドゴルフ大会	未経験者を対象としたグラウンドゴルフ大会	活動の日常化 校区民の交流拡大 健康づくり	×	×	×	×	×	継続
5	スポーツ教室	ウォーキングの仕方 体力測定と健康体操 子どもと成人のスポーツ交流大会	正しいウォーキングを学び日常の活動への還元 体力向上や健康状態の把握と生活化 異年齢交流を通して子どもの故郷意識の向上	×	A	×	×	A	検討
6	ウォーキングマップの作成	校区内のウォーキングマップ作成と住民へ情報提供	身近な運動の促進と健康で活力のあるまちづくり	×	×	A	A	C	検討

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 ×：未実施

イ 社会体育部会で実施した事業



校区大運動会



成人球技大会



ウォーキング教室

ウ 現状と課題

現 状 ・ 課 題

- 1 ホタルウォーキング
 - ・ ホタルウォーキング実施前に遊歩道の除草作業を行った。
 - ・ 花野町内会の協力のもと、事故なく実施できた。(誘導灯の準備)
 - ・ 参加児童に俳句を作ってもらい、文化祭にて展示した。
 - ・ 校区内にホタルの住む清流がある事が認識されてきている。
 - ・ 休日前の実施が望ましいが、ホタルの出現が天候に左右され、実施日の決定が難しい。
 - ・ ホタル増殖の取組が地域の方まかせで、具体的・計画的な取組がなされていない。
 - ・ 校区全体でのホタルウォーキングの取組をやめて、環境整備のみにした。一部の町内会のみ鑑賞の取組を行った。
- 2 校区成人球技大会
 - ・ 実施日が田植え時期と重ならず良かった。
 - ・ 実施要項やルール等について練習時に周知を図りトラブルはなかった。
 - ・ 練習や試合を通して世代間の交流はなされてきている。
 - ・ 毎年出場選手が固定化しており、より多くの人に参加できるように町内会でも取組をしてほしい。
 - ・ 町内会の責任者と本部の係が重複しており、大会運営に支障をきたした。
- 3 校区大運動会
 - ・ 学校の好意で校庭のコンディションを整えていただいた。
 - ・ 各係間の連携がスムーズに行われ、計画通り実施できた。
 - ・ 小学生が係役員、競技者として楽しく活動した。
 - ・ 種目選定、内容に無理なく全員で楽しめるプログラム編成であった。
 - ・ 校区民が多数参加し(老若男女)あらゆる世代間の交流がなされている。特に、係役員としての活動を通じて校区民の連帯感が深まってきている。
 - ・ 中学生の係生徒が学校行事や部活の為、途中で係の人数が減少した。
 - ・ 各町内会リレー選手の選出に苦労した。
 - ・ 小学生種目の参加者が少なかった。
- 4 スポーツ教室(ウォーキング教室)
 - ・ ウォーキングをされている方が増えているので、次期も計画できたらいいのではないか。
 - ・ ウォーキングの方法を部分練習、実際歩行を通じて指導していただいた。
 - ・ 参加者のほとんどが高齢者であった。
 - ・ 日常のウォーキングを生かすためもっと参加が増える広報活動を行う。
- 5 ウォーキングマップ看板設置
 - ・ 校区内に4か所看板を設置した。
 - ・ 花野コースをウォーキングしている人が多くなってきている。(ウォーキングの活性化)
 - ・ ウォーキングマップを利用して町内会の行事を行った。

4 第2期コミュニティプランと5本の柱

花野校区コミュニティプラン1期5ヶ年の取組を反省・考察し、2期5年間をどのような「まち」にしていきたいかの将来像を思い描き、その実現に向ける地域資源の発掘や活用の検討をし、暮らしやすい地域づくりの課題解決に取り組んでいくための具体的な計画です。

令和時代におけるこれからの5年間のまちづくり計画を分野ごとに策定し、住みやすい活気あふれる地域づくりを目指すものです。



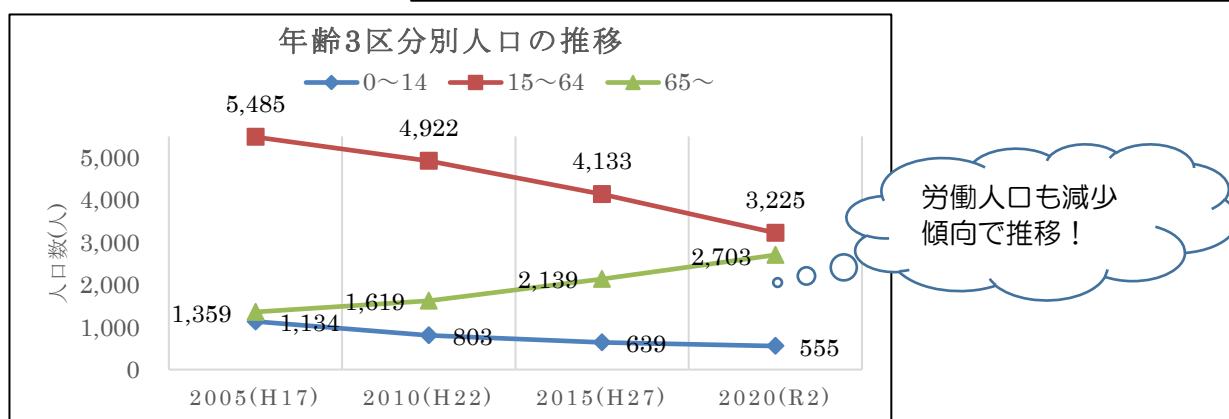
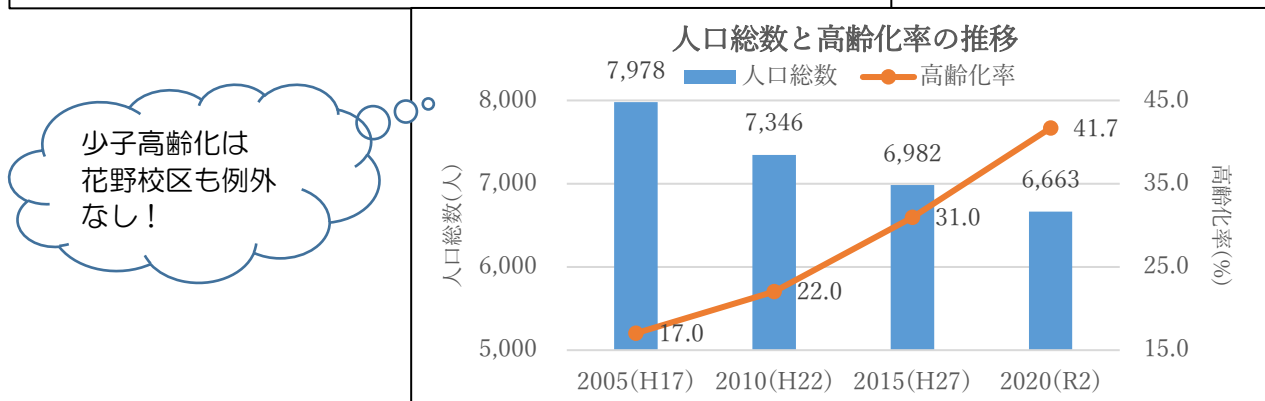
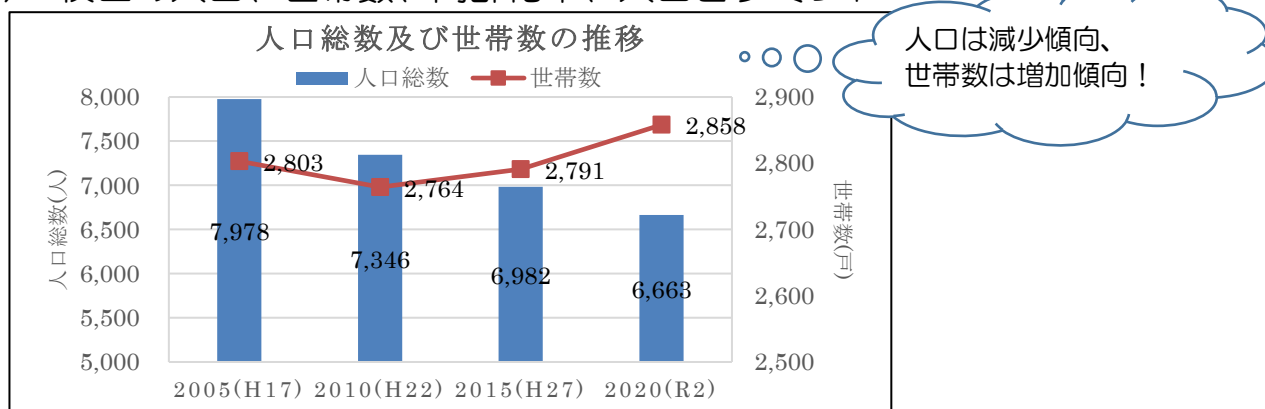
5 校区の概要

花野校区は、自然豊かな歴史（伝統）のある地域と新興団地など、5つの町内会で構成されています。

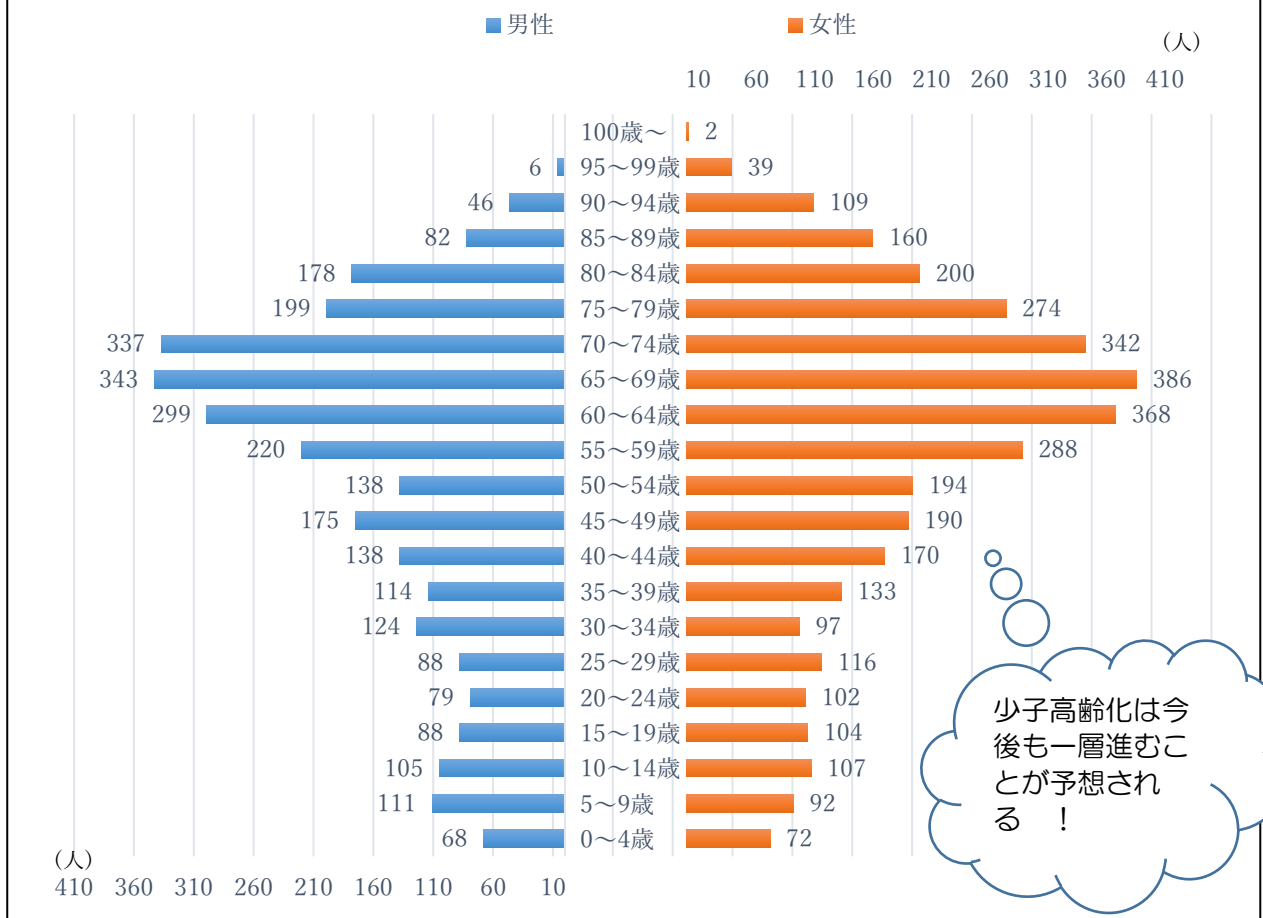
周囲が里山に囲まれており、自然豊かな校区です。近年、少子高齢化が進み人口減や、生活環境も変容し、交通便減少等による買物弱者や一人暮らし世帯が増えている現状です。一方、医療及び高齢者施設もでき、精神的にも安堵できる環境になりました。

地域住民同士のふれあいは盛んですが、現状に鑑み近隣の「絆」は希薄化し、行事等への参加意識も薄くなっていくようです。近年、少数ですが第2世代の移住が見られることは嬉しい限りです。コミュニティ協議会や町内会を中心に、青少年健全育成や高齢者支援など地域コミュニティ組織の活発な活動に支えられ、住民一体となり『住みよいまちづくり』に取り組んでいます。

(1) 校区の人口、世帯数、高齢化率、人口ピラミッド



令和2年(2020年)国勢調査 人口ピラミッド



(2) 花野校区コミュニティ協議会 構成団体

- 千年一丁目町内会・千年二丁目町内会・花野光ヶ丘町内会・花野町内会・皆房町内会
- 校区あいご会・高齢者クラブ・校区社会福祉協議会・民生委員児童委員・社会学級
- 安心安全ネットワーク会議・青色防犯パトロール隊・皆房消防分団
- 花野小学校・伊敷台中学校・緑丘中学校・花野小学校PTA・花野児童クラブ
- 花野スポーツ少年団・花野スポーツクラブ・スポーツ推進員
- 皆房棒踊り保存会・花野棒踊り保存会
- 地域活動支援センターとんぼ・デイサービスセンター花野光ヶ丘

6 まちづくりの目標

(1) まちづくりの目標（スローガン）

みんなで育て躍動する 住みよいまち 花野校区

(2) 目指す将来像

校区における身近な課題の解決や、地域資源を生かした活動など、地域主体のまちづくりに取り組み、連帯感と活力に満ちあふれた地域社会づくりに資する。

(3) 運営方針

ア 校区住民が親和と協同の連帯意識をもって、校区の発展と生活環境の整備を図り、校区が主体となった潤いと活力のある住みよいまちづくりを進める。

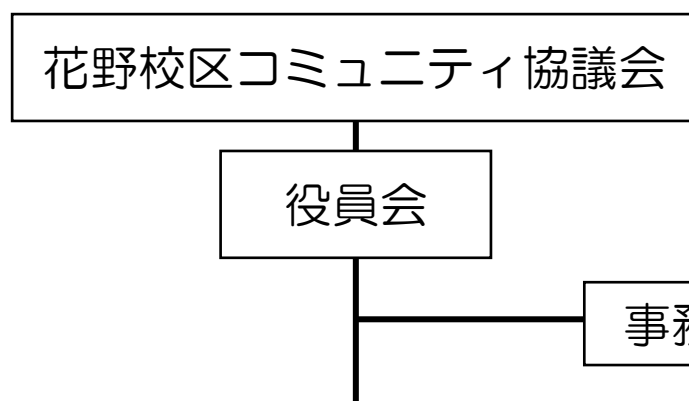
イ 住民みんなが夢や希望を持ち、助けあいながら楽しく生活し続けることができる個性豊かな校区づくりを進める。

ウ みんなで創る校区づくりを基本に役割分担し、部会の主体的で積極的な活動の充実に努める。

エ 各種構成団体との連携・協調を図りつつ、効率的な事業の推進に努める。

オ 校区の課題や校区づくりの住民の声を大切にして策定したコミュニティプラン（校区振興計画）をもとに、「自助」「共助」「近助」による実現をめざすとともに、関係行政との連携による活動「公助」の充実に努める。

7 推進組織と活動方針・主な活動



部会名	活動方針	主な活動
まちづくり部会	住民相互の強い絆で結ばれた、美しく住みよい地域の環境づくりを基盤に活力あるまちづくりを進める。 そのため、町内会への加入促進や環境美化活動の啓発など、地域課題を的確に捉え、諸施策の積極的な企画に取り組む。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活力ある地域づくり 2. 地域の環境づくり 3. 広報活動 4. 校区内小・中学校との連携
青少年育成部会	校区の青少年健全育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となって活動し、地域の教育力の向上に努める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年健全育成の資質向上 2. 家庭・学校・地域が一体となった教育力の向上 3. 各種団体との連携
福祉安全部会	高齢者や障害者等の見守り支え合い活動や、認知症、介護、障害者等の理解を深めるための講演会を開催するなど、全ての住民が安心して住みやすい生活を営む地域社会の実現を目指す。 火災や、地震、台風水害の自然災害に対する防災意識の普及に努め、犯罪や交通事故防止等の未然防止のための活動や危険箇所の点検を実施する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者、障害者等の見守り活動 2. 緊急時の連絡体制の構築 3. 防犯及び事故防止活動 4. 危険箇所の点検及び周知
社会教育部会	日常生活の中で学びの喜びを見出し、世代を超えて自己研鑽に励み、生涯学習への意欲を育てる。 伝統文化を継承する事で、地域住民の連帯感を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習の推進 2. 文化活動の充実と啓発 3. 伝統文化の継承と支援 4. 地域教育力の推進
社会体育部会	校区民が、楽しさと喜びを体感できる運動・スポーツ等の活動を推進し、運動・スポーツの日常化を目指す。 地域の運動・スポーツ等活動への支援と普及に努め、健康な地域づくりを目指す。世代間の交流を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然に親しみ自然を活用した活動 2. 恒例行事を継承する活動 3. 運動・スポーツの日常化に繋がる活動 4. 各種団体との連携による活動

8 各部会 具体的な取組

(1) まちづくり部会

番号	主な活動	具体的な取組 (事業名)	事業のねらい	実施 計画	継 新
1	活力ある地域づくり	【まちあるき研修会】 ・まちあるきを通じた 地域資源（史跡・文化） の学習	校区内にある伝統文化や史跡等を知り、地域を愛する心情を醸成するとともに、伝統文化の継承及び保存活用に努める。	短期	継
2	地域の環境づくり	【校区一斉清掃】 ・「クリーンシティがごしま」の日に、町内会ごと に一斉清掃を実施	「クリーンシティがごしま」の日と連動した校区民総参加による一斉清掃を通して、環境美化への意識高揚を図る。	短期	継
		【ゴミステーションの 美化】 ・町内の現状把握と課 題の共有化	誰もが利用するゴミステーションを美しく保つことに努め、美しいまちづくりへの意識高揚を図る。	短期	新
3	広報活動	【コミュニティ協議会 だよりの発行】 ・広報誌を年2回発行	校区内の諸活動への理解を深めるとともに、町内会活動への参画を促し、住みよいまちづくりを進める。	短期	継
4	校区内小・中学校との 連携	【新入職員歓迎会】 ・学校職員との交流	小・中学校との連携を深め、地域全体で青少年を育む意識を高めるなど、強い絆で結ばれた世代を超えたまちづくりに資する。	短期	継

(2) 青少年育成部会

番号	主な活動	具体的な取組 (事業名)	事業のねらい	実施 計画	継 新
1	青少年健全育成の資 質向上	【青少年健全育成研修会】 ・関係学校からの現状 報告 ・講演会	青少年の現状理解とその解決策を図る。	短期	継
2	家庭・学校・地域が一 体となった教育力の 向上	【青少年健全育成大会 並びに立志の集い】 ・中学2年生を対象に 開催 ・若者の決意表明 ・若者へのメッセージ	15歳の節目に将来の決意と目標設定、有意義な人生へのきっかけづくりを図る。 家庭・学校・地域が一体となり子どもの成長を見守る。	短期	継
3	各種団体との連携	【見守り活動】 ・あいさつの推進 【異年齢交流】 ・「青少年育成の日」の 活動を企画	子どもたちの実態把握に努める。 関係団体と協力し、異年齢の交流を推進する。	中期	継

(3) 福祉安全部会

番号	主な活動	具体的な取組 (事業名)	事業のねらい	実施 計画	継 新
1	高齢者、障害者等の見 守り活動	【見守り支え合い活動 研修会】 ・近隣同士の見守り活 動や支え合い活動、孤立 対策等の研修 ・高齢化率の把握	孤独死防止や隣同士のふれあい交 流を深め、元気で仲良く暮らせる地 域を目指す。	中期	継
2	緊急時の連絡体制の 構築	【ネットワークの構築】 ・高齢化に伴う、行方不 明、徘徊防止 ・緊急時の連絡体制 ・情報の共有化	高齢化に伴う、認知症等での行方 不明、徘徊の早期発見に努める。 開かれた地域社会を目指す。	短期	新
3	防犯及び事故防止活 動	【安全パトロール活動】 ・各種防犯活動研修へ の参加 ・青パト活動への協力 ・事故防止標識の設置	児童、生徒の事故防止を図る。 犯罪や非行のない安心安全な社会 を目指す。	短期	継
4	危険箇所の点検及び 周知	【危険箇所の点検】 ・安心安全マップの製 作、活用 ・防災研修会	危険箇所情報を共有し、安心安全 な地域づくりに努める。 研修会を通して防災意識の向上を 図る。	中期	継

(4) 社会教育部会

番号	主な活動	具体的な取組 (事業名)	事業のねらい	実施 計画	継 新
1	生涯学習の推進	【社会学級の開設】 ・成人学級、女性学級の 開設	心豊かで生きがいのある人生づく りを目指し、学習成果を家庭やまち づくりに還元する。	短期	継
2	文化活動の充実と啓発	【校区文化祭】 ・日常の学習成果の展 示及び舞台発表	校区民との交流促進を図り、輝く まちづくりへ貢献する。	短期	継
		【校区文化講演会】 ・現代社会を生き抜く 知恵の学習	地域住民の教養や文化意識の高揚 に努める。	長期	新
3	伝統文化の継承と支援	【伝統文化の継承】 ・花野町内会、皆房町内 会の伝統文化「棒踊り」 の継承支援	校区民への伝統文化の周知を図 り、異年齢の交流による地域の絆の 深化を目指す。	短期	継
4	地域教育力の推進	【家庭教育支援活動】 ・子どもたちの長期休 暇時等に学習会を開催	校区民の人材による知識や技能の 指導を勧める。	短期	新

(5) 社会体育部会

番号	主な活動	具体的な取組 (事業名)	事業のねらい	実施 計画	継 新
1	自然に親しみ自然を活用した活動	【ホタルウォーキング】 ・ウォーキングしながらホタルの観賞 ・ホタル増殖の支援 ・遊歩道の整備 (除草)	素晴らしい自然景観の認知を深める。 ホタルの増殖と観賞者の増加を図る。	短期	継
2	恒例行事を継承する活動	【校区大運動会】 ・校区民総参加を目指す取組の推進 ・町内会対抗による盛り上げの醸成	各構成団体や世代間の交流によって親睦の輪を広げ、校区民としての意識を高揚して地域の活性化を図る。	短期	継
		【球技大会】 ・参加しやすい内容の検討 ・伊敷ブロック大会予選も考慮		短期	継
3	運動・スポーツの日常化に繋がる活動	【スポ・レク大会】 ・各種団体との連携による開催 ・ニュースポーツ等、気軽に参加できる内容の開発を推進	スポーツの楽しさ、喜びを体感することで、スポーツ等の日常化に繋げる。 幅広い世代間の交流を深める。	短期	新
4	各種団体との連携による活動	【支援と普及】 ・地域の運動・スポーツ等活動への支援と普及を実施	地域での健康づくりの手助けとなる。 ウォーキングマップの日常的活用の促進を図る。	短期	継

※実施計画・・・短期（毎年）中期（2～3年）長期（4年以上）

※継 新・・・継（前期より継続事業）新（新規事業）

資 料

- コミュニティプラン策定委員会委員名簿 P1
- 第2期コミュニティプラン策定経過 P2
- 花野校区ウォーキングマップ
- 花野校区史跡マップ
- 花野小校区危険箇所および通学路マップ

〔 資料提供：花野校区安心安全ネットワーク会議
花野小スクールゾーン委員会 〕

花野校区コミュニティプラン策定委員会
委員名簿

	役 職 等	氏 名
1	コミュニティ協議会 会長	森尾 恭光
2	コミュニティ協議会 副会長	岩川 耕造
3	コミュニティ協議会 副会長	上野 利則
4	コミュニティ協議会 副会長	上三垣 毅
5	コミュニティ協議会 副会長	熊迫 紀生
6	コミュニティ協議会 副会長	山下 雅子
7	まちづくり部会 部会長	上白木 勤
8	青少年育成部会 部会長	中野 則昭
9	福祉安全部会 部会長	新徳 孝夫
10	社会教育部会 部会長	嘉味田 瑞子
11	社会体育部会 部会長	道添 重樹
12	まちづくり部会 副部会長	西熊 利行
13	福祉安全部会 副部会長	永倉 千尋
14	社会教育部会 副部会長	久留米 貴久子
15	社会体育部会 副部会長	田代 さつき

第2期（令和5年～令和9年）コミュニティプラン策定経過

	行 程	内 容	日 程
1	コミュニティプラン策定体制の確立	策定体制の検討 （プラン策定委員会設置）	令和3年 5月13日（木）
		第1回プラン策定委員会 ・第2期プラン策定勉強会	令和3年 6月25日（金）
		第2回プラン策定委員会 策定スケジュール作成	令和3年 11月9日（金）
2	校区の現状と課題の把握 （現プラン活動の反省と評価）	第3回プラン策定委員会 活動状況のふりかえり （各部会で活動の評価・反省） 校区の基礎データや特性の調査	令和4年 6月10日（金）
		第4回プラン策定委員会 活動状況のふりかえり （活動の評価・反省）	令和4年 8月24日（水）
3	コミュニティプラン内容の作成	第5回プラン策定委員会 まちづくり目標の設定 基本方針、活動内容のまとめ 具体的な事業を検討 （各部会にて検討）	令和4年 9月27日（火）
		三役会 まちづくり目標の設定 （スローガン）基本方針等の検討	令和4年 10月2日（日）
		第6回プラン策定委員会 まちづくり目標の設定 基本方針、活動内容のまとめ 具体的な事業を検討（各部会） 事業スケジュールの設定	令和4年 10月25日（火）
		第7回プラン策定委員会 第2期コミュニティプラン（案）確認	令和4年 11月30日（水）
		第3回全体会 第2期コミュニティプラン（案）確認（各部会） 令和4年度実施分ふりかえり評価	令和4年 12月7日（水）
		まとめ 第8回プラン策定委員会 （策定作業の結果まとめ）	令和5年 1月27日（金）
4	コミュニティプラン（案）の完成	地図や写真 （親しまれるプランになるような工夫）	
		臨時総会 第2期コミュニティプラン決定	令和5年 2月17日（金）
5	コミュニティプラン完成 校区への周知	製本	令和5年 3月
		校区住民への周知 （定期総会等）	令和5年 4月～5月

花野校区ウォーキングコース



光ヶ丘コース (花野団地 — 泰山荘)	2.9km (2,900m)	A — B — C
皆房コース (花野団地 — 皆房)	4.5km (4,500m)	B — D — E — F — A — B
千年橋コース (千年橋 — 千年クリニック)	0.9km (900m)	E — G
千年コース (千年団地 — 西伊敷)	1.9km (1,900m)	G — H — I — G
花野コース (花野 — 南方神社廻り)	1.7km (1,700m)	F — J — K — L

花野校区ウォーキングコース 花野コース



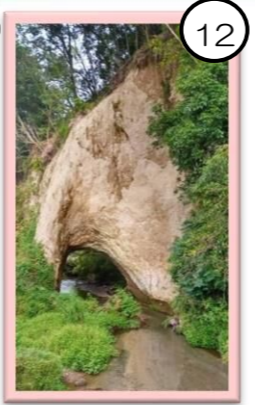
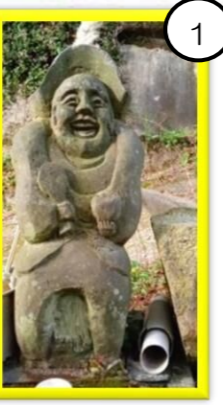
花野校区ウォーキングコース 千年・千年橋コース



花野校区ウォーキングコース 光ヶ丘・皆房コース



花野校区コミュニティ協議会 花野校区史跡マップ



花野校区史跡マップ解説

(令和5年3月現在)

①	たのかみ 田の神	昭和の初めころ設置されたと思われます。
②	すいてん 水天	設置者：松峯山 24世??松峯山は浄光明寺の山(さん)号 浄光明寺の開基は島津忠久(島津家初代当主) 設置年：安永7年5月吉日(1778年) 石碑には「水天」の刻銘があるが「水天」は仏教用語で水をつかさどる龍神様のこと。花野川の滝の上の場所にあり、現地に行くことは危険です。
③	みなみかたじんじゃ 南方神社	祭神：建御名方命(たけみなかたのみこと) 八坂刀売命(やさかとめのみこと) 昭和10年(1935年)4月に郡山町の花尾神社と比志島の小鷹神社を合祀。 神殿側から見て中央に花尾神社、右側に南方神社、左側に小鷹神社と書かれた木額あり。さらに花尾神社の傍らに「忠久の命」と書かれた木額(墨字)あり。「忠久の命」とは島津家始祖忠久公のことと思われますが、小鷹神社の命は不明です。 昭和22年9月23日(1947年)に「南方神社」として法人登記されています。
④	こうしんくようとう 庚申供養塔	設置年：寛延三甲午年(1750年)2月5日 設置者：奉寄進庚申供養 福泉寺五代 湛?
⑤	さんじゅうしちはちねんのえきじゅうぐん きねん ひ 三十七八年役従軍紀年碑	三十七八年役とは明治37年、38年(1904年、1905年)の日露戦争のこと。花野の方が多く従軍され、氏名が記されていますがよく読み取れません。
⑥	しなじへん だいてうあせんそう 支那事変 大東亜戦争 せんぼつしゃいれい ひ 戦没者慰霊碑	設置年：平成3年8月15日(1991年) 支那事変(日中戦争)(1937年～)大東亜戦争(1941年～1945年)で尊い命をなくされた花野の20名(20歳代15名、30歳代3名、40歳代1名、年齢不詳1名)の方の氏名が記されています。
⑦	かんのんぼさつ しょうかんのん ぞう 観音菩薩(聖観音)像	台石正面に「雲竜山 福泉寺」とあります。 設置年：享保十四己酉年(1729年) 福泉寺は時宗「浄光明寺」の末寺、山号は「松峯山」。浄光明寺は島津氏初代から5代までの菩提寺で創建年は文治2年(1186年)、開基は島津忠久(島津家初代当主)。なお福泉寺は現在ありません。
⑧	じぞうぼさつぞう 地藏菩薩像	設置者、設置年とも不明ですが、聖観音像と同時期(1729年頃)に設置されたと思われます。
⑨	むほうとう じゅうしよくはか その たぼせき 無縫塔(住職墓)その他墓石	現在の花野墓地に、無縫塔、地藏、墓石などが多数あります。福泉寺の裏山に墓地があったと思われます。 無縫塔(住職墓)は、文化2年(1805年)から天保12年(1841年)のもの8基あり、地藏は宝暦4年(1707年)のもの、墓石は貞享(じょうきょう)(1684年～)から安政(1855年～1860年)のものがあります。福泉寺は、江戸時代(1603年～1868年)のうち200年余り花野にあったと思われます。
⑩	ばとうかんのんぞう 馬頭観音像	伊敷団地(もともとは花野)に8個の石碑が立っています。 うち1体は馬にまたがった「馬頭観音像」と思われる像が刻まれています。 風化により記銘がはっきりしませんので、年代は不明です。
⑪	けのがわのたき 花野川の滝	日影橋の下に、滝の高さ7m～8m、水量も多い滝があります。 滝下には岩がゴロゴロしていますが、8・6水害前までは岩はなく砂地で走って遊べ、昔はウナギの滝登りも見られたとのこと。

⑫	けのがわのどうもん 花野川の洞門	花野川にあるかまぼこ型のトンネル。昭和の初め頃、花野川に隣接した山の下にトンネルを掘り、川をまっすぐにしたとのこと。
⑬	かいぼうす わじんじゃ 皆房諏訪神社	皆房の地名は定かではありませんが、西暦1465年鹿児島郡区の諏訪神社祭りに当番で皆房村が「神社史」に出てくると言われています。 諏訪神社は信濃諏訪神社が本社で、西暦1189年(文治5年)初代島津忠久公が年少時に奥州の戦時に副将軍として参戦した際に信濃国大社に祈願し、勝利したきっかけで五代貞久が大社の分霊を薩摩に勧請したと言われます。皆房諏訪神社は、元禄年中(1688年から1703年)相殿の厳島神社と共に源義照(川田義朗)が勧請、崇敬と神社史に出てくると言われます。 川田義朗は大変な神社通で信州の諏訪神社と合せて、当時、皆房村を統治していた父のもとへ勧請したと言われます。 皆房諏訪神社は鎌を奉納する習慣があり、女の神様と言われています。
⑭	かいぼうこうみんかんらくせいきねん ひ 皆房公民館落成記念碑	皆房公民館落成記念碑は、昭和61年3月皆房公民館の移設開館を記念して建立された記念碑です。 それまでの皆房公民館は民有地を借地していましたが、花野団地の開発に伴い、開発業者である宮崎開発の御協力も得て、町内会所有地の神社敷地に移転、新築されました。
⑮	ちゅうこんひ 忠魂碑	明治37年～38年日露戦争が勃発しました。当時、満州(現中国)で領土をかけてロシアとの紛争が始まりました。忠魂碑は、日露戦争に当地区から召集されて戦死した川路太四郎氏を偲び、当時の軍人会が建立したものです。(大正10年と表示)
⑯	にょいりんかんのんぞう 如意輪観音像	皆房諏訪神社境内に設置されている観音像は如意輪観音像と言い、西暦1751年、当時、皆房村を統治していた侍が村の発展を願い建立したものとされ、永井市助と銘が刻まれています。 如意輪観音像は仏像で観音菩薩が変化した菩薩のことで、苦しみを打ち砕き、幸せをもたらす、出産や子育てを守り、幸運を招く観音像と呼ばれています。
⑰	やがくしゃあとし 夜学舎跡地	江戸時代からこの一帯は「村」と呼ばれ、皆房村の中心地として自治が行われており、青年会が勉学に励んだ「夜学舎」があり、この記念碑が設置されています。大正時代までは「皆房諏訪神社」もこの場所に祭られていたと言われています。
⑱	じぞうぼさつぞう 地藏菩薩像	この地藏は、「子育ての像」として地域住民から親しまれ、西暦1695年に、製作、建立されたと言われています。
⑲	たのかみぞう 田の神像	通称「田の神さあ」と呼ばれ、稲作の豊凶を守り、皆房に豊穰をもたらすと信じてきた神です。特徴は両膝を曲げ、しゃがみ込み、いつでも話しかけるような容姿を持っています。歴史的には18世紀薩摩藩の厳しい時代に、農耕を守り豊穰をもたらす神として各地域に祭られたと言われ、鹿児島本土、宮崎南部に多く見られます。 近年は皆房では祭りごとはありませんが、住民は豊作を祈っています。
⑳	せっかんとう 石敢當	石敢當は魔除けの石碑で、魔物はまっすぐ進むと言われる意味から三叉路の突当りに建てられています。 江戸時代に中国から沖縄県に伝わりそして鹿児島県(薩摩藩)に伝えられたと言われ沖縄県、鹿児島県に多く見られます。



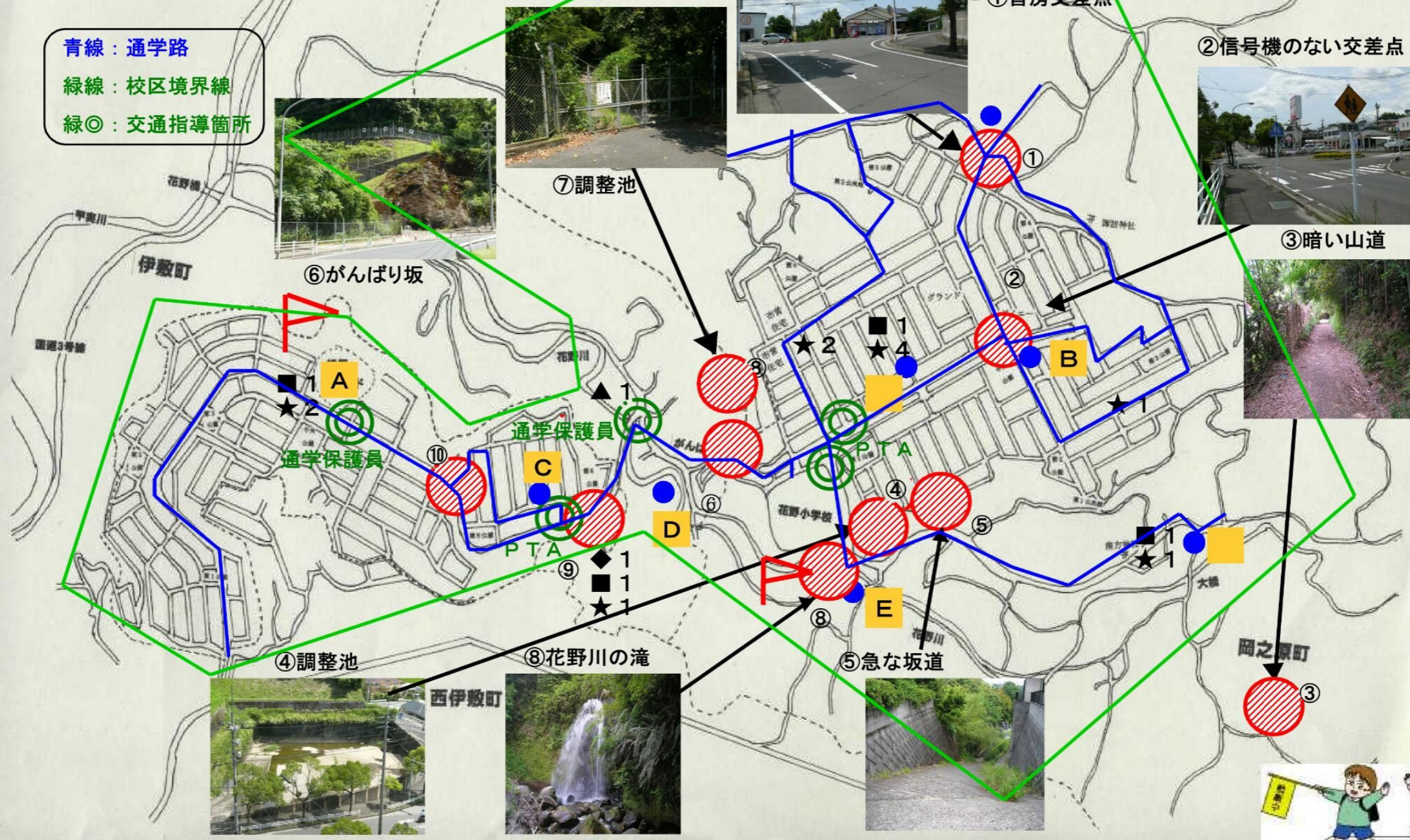
【緊急連絡先】

警察	110 (緊急)	#9110 (相談)
	229-2239 (伊敷交番)	
	285-0110 (西警察署)	
救急・消防	119 (緊急)	
	222-0119 (鹿児島市消防局)	
	220-0119 (伊敷分遣隊)	
救急の医療機関問い合わせ		
	222-0119 (鹿児島市消防局)	
	214-3350 (市医師会夜間急病センター)	
	258-2323 (市保健所, 休日・夜間のみ)	
花野小学校	228-0221・228-0222 (FAX兼用)	

◎ 保護者の皆様へお願い
 ※ マップ等をもとに、各家庭で次のことについて話し合ってください。(学校でも指導します。)
 ○ 自宅の近くやよく遊ぶ場所での危険箇所
 ○ 危険箇所へ近づかないことや危険な遊びをしないこと
 ○ 行き先やいつ帰るかを必ず伝えてから遊びに行くこと
 ◎ 保護者や地域の皆様からの情報をもとに作成しましたが、他にも危険箇所等がありましたら、学校にお知らせください。

でかけるときのあいことば
 【イカのおすし】
 イカ→しらない人についてイカない。
 の→しらない人の車にぜったいのらない。
 お→きけんをかじたら「たすけて」など
 おおごえをだす。
 す→きけんをかんじたらすぐににげる。
 し→きけんをかんじたらちかくの人にし
 らせる。おやや学校にもしらせる。

- ⑥ がんばり坂
不審者に対する注意が必要である。
 - ⑦ がんばり坂横の調整池
フェンスで入れないが、入ると大変危険である。
 - ⑧ 花野川の滝
小川が急に滝となって落ちる。小川から滝口付近になると、足元が見えにくく落ちる危険性がある。
 - ⑨ 元まるよし商店前
交通量が多い。
 - ⑩ 千年2丁目交差点
急カーブのため見通しが悪い。
- | | |
|---------------------|-----|
| ◆ | 1か所 |
| 衛生器具自動販売機 | |
| ■ | 4か所 |
| 酒類自動販売機 | |
| ★ | 5か所 |
| たばこ自動販売機 | |
| ▲ | 1か所 |
| セーフティステーション (コンビニ等) | |



- ① 皆房交差点
交通量が多く、見通しが悪い。横断歩道、信号機もない。
- ② グルメシティー前の交差点
道路幅が広く、交通量が多い。また、信号機もない。
- ③ 緑丘中への近道
ほとんど利用者のない山道で、街路灯がない。道路脇に防空壕跡がある。路肩の崩落があり、不審者対策や性被害防止の観点からも大変危険である。
- ④ 花野小道路向かいの調整池
普段、水量はほとんどないが、大雨の後等に注意が必要である。
- ⑤ 調整池上の小道
急傾斜のため、転倒等の注意が必要である。

● 子ども110番の家 ⇒
 A：千年メディカルクリニック B：花野福祉館 C：デイサービスウェルカム
 D：たぬき湯 E：ラ・フィーネ (美容室)

赤旗・看板の設置

